

どこへ向かうの？

日本の「住まい」

内田樹

五十嵐太郎

× 光嶋裕介 ×

出席者略歴

内田樹

1960年生まれ。神戸女学院大学文学部総合文化学科教授。専門はフランス現代思想、映画論、武道論など。著書多数。2007年『私家版・ユダヤ文化論』で第6回小林秀雄賞を受賞。『日本辺境論』で新書大賞2010を受賞

五十嵐太郎

1967年生まれ。東北大学大学院工学研究科教授。建築史・建築批評家。『終わりの建築 / 始まりの建築—ポスト・ラディカリズムの建築と言説』ほか著書多数。

光嶋裕介

1979年生まれ。ザウアブルッフ・ハットン・アーキテクト（ドイツ）を経て、2008年、光嶋裕介建築設計事務所設立

多領域を自在に横断する2つの知性が語る

戸建て・集住—さまざまな「住まい」のこれから

われわれの社会は今、政治や経済の仕組みといったマクロなレベルから、人と人のつながりというごく身近なレベルに至るまで大きな変化の波にさらされています。そのなかで、われわれ個々人の生活・活動の基盤となる住まいは今、どこへ向かっているのでしょうか。この対談では、この切実なるテーマをめぐって、専門の現代思想にととまらず、社会的な事象に幅広く犀利な視点で迫る、日本を代表する論客の内田樹氏と、同じく、幅広い視点から建築のさまざまな局面に新たな視線を注ぐ建築史家の五十嵐太郎氏のお二人に縦横に語っていただきます。個々の住まいに限らず、集合住宅から介護施設などにおける集住までも含め、われわれの「住まい」がどこへ向かっているのか——そしてさらに、現在、内田氏の自邸+道場の設計を手がける気鋭の建築家光嶋裕介氏にも参加いただき、その設計にまつわるお話なども交えた、話題・内容つきせぬトークセッションをどうぞお楽しみください。

2010年9月11日（土）13：30～15：30

新宿NSビル16階 インテリアホール

参加費：一般500円、学生300円 なおAプロジェクトWEBサイトより会員登録した方は無料

お申し込み：WEBサイト <http://www.a-proj.jp/> から 定員になり次第締切

問合せ先：ミサワホームAプロジェクト 03-3349-8073（Aプロジェクト）または A_Project@home.misawa.co.jp

■主催：Aプロジェクト（ミサワホーム） ■企画・監修：大島滋（Aプロジェクト）、内野正樹 ■企画協力：長島明夫、光嶋裕介 ■デザイン：栄家志保